

ダルニーフォーラム

第二十四号

2017年9月

www.edfthai.org/jp

奨学生からのお礼の言葉

今年中学就学の教育機会を得た何千人のうちの一人



友だちと教室の中にいるチャーちゃんの姿



ガールガイドの授業

EDFは、以前にブリラム県バーンラムナンロン小学校6年生の少女、シリカンヤー・バーンブラコン(ニックネーム チャー)さんの話を「ダルニーフォーラム第23号」に紹介しました。その当時、チャーさんは、EDFが募集していた2017年度の奨学生に応募していた何万人かのうちの一人でした。そして今日、中学校へ進学して勉強したいという彼女の夢は、まさに実現したのです。

彼女とおばあさんは、先生から奨学生に選ばれたと知らされて、大変喜びました。そして、支援者にお礼の気持ちを伝えるために、急いで感謝の手紙を書き、EDFに送ることを忘れませんでした。EDFは、チャーさんの手紙を、皆さんに紹介させていただきたいと思います。内容は、次のようなものでした。

(手紙に書かれたメッセージ)

心から尊敬する支援者の方へ

「私は、シリカンヤー・バーンブラコン、15歳の女子です。現在、ブリラム県ノーニンディンデーン郡ラムナンロン町のバーンラムナンロン中学校で、1年生として勉強しています。1年生になったこの2017年度に、私は、日本たばこ産業(株)労働組合の方々から奨学金をいただくことになったと、先生を通じてEDFから連絡をもらいました。私は、とても感激して飛び上がって喜びました。私が中学で勉強を続けることができるようにという支援者からの優しい思いやりは、本当にありがたかったです。当初、私の家庭は貧しいので、進学することはできないと思っていました。両親は、私がまだ物心つかない頃に離婚し、それぞれに再婚して新しい家族がいます。ですから、わたしの勉強のために仕送りすることはできませんでしたし、私の面倒は一切見てくれませんでした。学校に掛かる費用に家庭の支出も含めて、すべて祖母が工面しています。私は、両親が離

婚してからずっと、祖母と二人で暮らして来ました。祖母はもう高齢で、収入は、茅を編むことから得られるものと、政府から支給される1か月あたり600バーツの老人手当だけです。これらの収入では、毎月私と祖母が食べていくのが精一杯です。このため、学校の制服、教科書や教材などの学校に掛かる費用は、近所の人たちから借金をするか、うちにある古い物で我慢するか、しか方法はありませんでした。ですから、今回いただいた奨学金は、私の学費の負担をととても助けてくれました。

私と祖母は、奨学金をくださった支援者の方とEDFに心から感謝しています。私は、この奨学金を最も役立つように、いただいた今回の勉学の機会に相応しいように使いたいと思います。本当にありがとうございました」

EDFは、チャーさんのような教育機会に恵まれない貧しい子供たちに、機会を与えていただいた支援者の方々に、厚くお礼を申し上げます。2017年度は、チャーさん以外に8,781人もの子供が、奨学金を受けることができました。今彼らは、チャーさんと同じように、とてもうれしく、そして進学する機会を得たことを感謝しています。

2017年度の実績報告

2017年度はタイの子どもたちへの教育機会提供支援に関し、皆様より様々な面で大変お世話になり、どうもありがとうございました。2017年度募金活動の実績は8,781人(昨年度7,129人)でした。この内、奨学生を指定されないEタイプは346,927バーツで募金箱からは282,204バーツでした。EDFでは2017年7月に、各対象学校への奨学金の振込みを完了しました。奨学生証書などは今回同封しましたので、写真でご自分の支援しておられる子どもたちの成長ぶりをご覧ください。

新川崎ロータリークラブの奨学金贈呈式



2017年9月1日
新川崎ロータリークラブはナコンラーチャシーマー県パークション市にあるバーンナー（プラシットウィッタヤーカーン）校で奨学金贈呈式を行いました。120,000バーツのご寄付金は3校計20人の奨学生に対し、2017年

度の中学入学から3年間分の奨学金に充当されます。贈呈式終了後、バーンナー（プラシットウィッタヤーカーン）校に実地される昼食用食材プロジェクトを見学されました。

真如苑（タイランド）財団の11年目の奨学金寄贈式



2017年7月23～26日
真如苑（タイランド）財団はバンコクとチェンマイに居住している高校生と大学生合計57人のために、バンコクとチェンマイで11年目の奨学金贈呈式を行いました。今回の奨学金は3,055,000バーツでした。又、チェンマイ

で、2017年に大学を卒業した13人の学生への送別会を行いました。

AWCが6年目の奨学金ご寄付



2017年6月7日
在タイアメリカ婦人協会「American Women's Club of Thailand」の取締役会長のバリー・アット・ローリー氏「左側から2人目」より、2,844,000バーツの奨学金をご寄付頂きました。今回のご寄付は2011年からスタートさ

れた6年目の支援金となりました。この寄付金は、タイ国内の474人の女子学生の高校進学への支援に使われます。この度、EDFのプロジェクト部長チャールワット・ブッサマリー（右側からの4人目）がEDFの代表者として奨学金を受けました。

Computer Graphic Plus Co.,Ltd.「CG+」が300,000バーツの奨学金をご寄付



2017年5月23日
EDF事務局でComputer Graphic Plus Co.,Ltd.「CG+」のマネジャーのアッタコーン・インタコーン氏（写真の右側）よりEDF財団の事務局長のサンペット・ニラット（中央）に300,000バーツの奨学金をご寄付頂きました。この寄付

金は150人の子ども達への奨学金として役立てられます。

福岡県議会議員がEDFを訪問



2017年8月3日
福岡県議会議員の民進党・県政クラブ県議団会長の吉村敏男氏（写真左から3人目）と議員グループ14名の方々がEDFを訪問されました。この度、子どもたちへの100,000円の奨学金のご支援と共に、EDFの事業運営やタイの貧困問

題についてEDFからの説明を受けました。

シナジェティクス・アウト・パフォーマンス社が「asap GO」キャンペーン実施



2017年7月18日
シナジェティクス・アウト・パフォーマンス社（レンタカー会社）は2017年7月から2018年1月まで（6ヵ月間）「asap GO」キャンペーンを実施しました。「asap GO」キャンペーンはシナジェティクス・アウト・パフォーマンス

社のレンタカーを利用されているお客様からの料金の10パーセントをEDFへ寄付するというものです。

留学生のグループ「Think」が奨学金ご寄付



2017年5月23日
タマサート大学で留学中の日本人グループ「Think」の代表がEDF事務局を訪問しました。今回、2人分3年間の奨学金をご寄付頂きました。今回のメンバー（9名）は留学を終え、5-6月に帰国されますが、帰国後、日本に於いても、EDFの進める奨学金

制度や貢献活動の紹介を継続して頂けるそうです。

日本人の支援者が奨学生の家庭訪問



2017年5月5日
日本人の支援者の中嶋直行様は奨学金をご支援している奨学生のウイラパット・クルアカームさんの家庭を訪問しました。ウイラパット君は中学校の1年生から現在の専門学校で2年生まで奨学金を受け、現在、ウボンラチャタニ

県にあるタクランブードポン工科カレッジで勉強しています。今回、日本人支援者は奨学生の両親と一緒に食事をしました。又、奨学生と学校での勉強やこれからの進路についての話をしました。